

2008. 8. 24 聖別会

IMMANUEL

インマヌエル
中目黒キリスト教会
聖別会マンスリー



2008年

きよめのハイウェイ⑦ 「転機の後取る姿勢」

テキスト：「この世と調子を合わせてはいけません。いや、むしろ、神のみこころは何か、すなわち、何が良いことで、神に受け入れられ、完全であるのかをわきまえ知るために、心の一新によって自分を変えなさい。」（ローマ 12:2）

A. 「転機」の意味するもの

1. 神に敵対している自我の磔殺（ガラテヤ 5:24）
2. 十字架と一体化する信仰の告白（ローマ 6:11）
3. 全き献身の告白（ローマ 12:1）*
4. 信仰への応答としてのきよめ（ヘブル 7:25）
5. 聖霊に満たされる（使徒 2:4、15:8-9）

* ローマ 12:1 のポイントの復習

- ・「そういうわけで」：完成された贖いのゆえに
- ・「兄弟達。…」：クリスチャンに対して
- ・「神の憐れみのゆえ」：恵みが献身を押し出す
- ・「お願いします」：自発的な献身への勧告
- ・「ささげなさい」：元々神のものである自分を神のものとしてお返しする
- ・「からだを…」：全人格的行動として
- ・「神に受け入れられる」：心を尽して愛する魂
- ・「聖い」：血潮の故に聖く、傷無くされて
- ・「生きた」：全生活を主に明け渡す
- ・「霊的な礼拝として」：献身は礼拝者の姿

転機は非常に重要であるが、それは、その後続く成長のための出発点である。

B. 転機後の姿勢（2節）

- ・ 献身の確認と継続（2節は、1節の続きである）

アボット「明け渡したものとしての私の自我は、あらゆる形における独立宣言に対して、ノーと言う強い立場を保たなければなりません。私達は、毎日再献身する必要はないでしょう。しかし、私達が行った献身、明け渡しを、屢々確認し、告白することはぜひとも必要です。」

- ・ 「倣うな」：神に逆う世界の価値観に染まらぬ
 - ・ 「自分を変えなさい」：私達を変え続け給う神のみ業に身を委ねる受身の姿勢
- ① 日々、御言の前に自分を置くこと
 - ② 「心の一新によって」：日々聖霊によって新たに神に近づき、御心をより一層近く弁える、という意味での「更新」
 - ③ 神の御心は常に善を目的とし、私達にとって喜ばしく、完璧であることを理解する

<テーマソング> 「みくにの大路」（福讃 365）

- ① みくにの大路に 花咲きかおり
救いを喜ぶ 歌声絶えず
（折返）みくにの大路を 直く歩めば
憂いの雨晴れ、朝日輝く
- ② 大路をいきつつ み声を聞きて
さかえの御顔を 仰ぐうれしさ
- ③ めぐみの春雨 草木にかかり
泉は湧きいで 旅人（たびと）を生かす